

台東区長 服部征夫殿

**(仮称) 谷中3丁目マンション計画見直しと
谷中らしい暮らしと街並みを守る活動についての要望書**

台東区谷中3丁目38番地、のこぎり屋根の元リボン工場・印刷工場跡地に建設が予定されている(仮称)谷中3丁目マンション計画について、内容を検討した結果、近隣の環境のみならず、江戸からの由緒ある寺町谷中にとって多大な環境の変化・悪化を招くため、計画の見直しが必要と考える。台東区都市計画マスタープラン、台東区景観計画および「谷中地区まちづくり憲章」に基づく指導、計画見直しのための話し合いの場の設定、住民との合意形成まで、建築確認申請・建築工事の留保等を行い、計画が見直されるよう、働きかけ、調停の場をつくるよう要望いたします。

台東区谷中は江戸時代よりの寺町で、平成19年には「寛永寺、上野公園と谷中の街並み」が「美しい日本の歴史的風土100選」にも選定されており、住民はもとより、東京都、ひいては日本の貴重な財産となっています。計画地は地域住民や観光客が行来するよみせ通りに面し、沿道は5階以下の中低層の街並みが続きます。本敷地は明治築の元リボン工場ののこぎり屋根の景観が長年親しまれてきた場所であり、谷中の歴史風致や暮らしに相応しい建物が求められています。

本来、マンションの建設は、地域の中で暮らして行く住民を育むことです。マンション建設会社としては、お客さんである居住者が地域に歓迎され、安心して住み続けられる住まいを提供する社会的責任があります。規模、用途、内容等については十分な検討をし、建設を進める以上、当然地域に歓迎されるマンションを計画していただきたい。マンション建設は公共性を有したもので、ましてや伊藤忠商事という日本の有数の商事会社としては、地域性を考慮した事業計画・建築計画を考えて然るべきと考えます。

しかし残念ながら、今回のマンション計画は、9階建て、ワンルーム中心の賃貸マンションで、地域の環境・景観・コミュニティの上でも谷中地区住民が長年かけて育てて来た地域性にそぐわないものであり、このままでは建物も入居者も地域に歓迎されるとはいえないものです。マンションおよびその住民が、江戸からの由緒ある寺町、住民同士のふれあいや助け合いのある安心安全なまちを共に作って行けるよう、1)台東区都市計画マスタープラン、台東区景観計画および「谷中地区まちづくり憲章」に基づく指導、2)計画見直しのための話し合いの場の設定、3)住民との合意形成まで、建築確認申請・建築工事の留保の働きかけをお願いいたします。

あわせて、谷中地区全体を対象に、谷中らしい暮らしと街並みを守るルールづくりを区としてご支援いただけますよう、お願い申し上げます。

平成27年 9月
谷中の暮らしと街並みを守る会
谷中地区町会連合会・谷中地区まちづくり協議会会長
住所：東京都台東区 谷中3丁目2-3
代表：野池幸三

【賛同団体(依頼・募集中)】

谷中地区町会連合会(上野桜木町会・東桜木町会・天王寺町会・天茶親交会・谷中町町会・谷中坂町町会・谷中南町町会・谷中真島町会・谷中三崎坂町会・北町緑会・谷中親和会・谷中初音一丁目町会・初三親和会・谷中初四町会)・千駄木三丁目南町会・千駄木三丁目北町会・谷中地区まちづくり協議会・池之端三丁目町会・池之端四丁目町会・よみせ通り商栄会・谷中銀座商店街振興組合・谷中さんさき坂商店会・下谷仏教会・谷中コミュニティ委員会・青少年育成谷中地区委員会・上野消防団第七分団・第八分団・谷中小学校PTA・上野中学校PTA・谷根千工房・NPO たいとう歴史都市研究会・谷中のこ屋根会・まちまち net 谷中・谷中ヒマラヤ杉基金